



R. I. 第2630地区 高山中央ロータリークラブ WEEKLY REPORT

2012～2013 年度 高山中央 RC 会長テーマ
「質素な運営 豊かな奉仕」

◆会長 足立 常孝 ◆幹事 田中 雅昭 ◆会報委員長 坂家 賢司 ◆会報担当 水川 巧

創立 1991 年 5 月 20 日

◇事務局 高山市花岡町 1-15 丸越商事 4F

TEL:0577-36-0730/FAX:0577-36-1488

◇例会場 ひだホテルプラザ 3F/TEL:0577-33-4600

◇例会日 毎週月曜日 PM12:30～

◇ホームページ <http://www.takayamacrc.jp/>

<出席報告>

	会員数	出席会員	出席	Make-up	出席率
本日 942 回	51 名	51 名	42 名	—	82.35%
前々回 940 回	51 名	51 名	44 名	1 名	88.24%

<点 鐘> 会長 足立 常孝
<本日のビジター>
高山ロータリークラブ 西野 徹 様

<会長の時間> 会長 足立 常孝

「こんにちは」先週の上高地での移動例会に参加された皆さん、そして土日に地区大会に参加された皆さん、御苦労さまでした。

本日も、地区大会 3 日目の草刈大会に、剣田さん、岩本さんが、当クラブの代表選手として参加されてみえます。



先週の 24 日に、指名委員会が開催されました。無事予定通り修了して、その後、未来委員会と合同の勉強会を行いました。内容は、CLPを導入するか？否か？で、勉強会の結論では、「一部導入しよう。」となりました。山本エレクトも、次年度から取り組みたいと表明されました。

CLPを導入する前提で、当クラブの組織表変更が必要です。組織変更を改正するクラブ細則変更をしないと、次年度の新役員リストを例会で掲示できませんので、臨時総会を 11 月第二例会に開催した後、1 ヶ月間、例会時に新役員リストを掲示させていただきまして、12 月第二例会で、年次総会を開催させていただき予定しております。

私の任期も 1/3 が過ぎようとしております。次年度へ向かっての風が、吹きかけました。寂しい心境ですが、まだ 2/3 の任期がありますので宜しくお願い致します。

<幹事報告> 幹事 田中 雅昭

◎国際ロータリー第 2630 地区ガバナー事務所より

- ・ロータリー文庫決算書
- ・ロータリーレートのお知らせ
11 月は 1 \$ = 80 円

◎国際ロータリー第 2630 地区 2011～2012 年度地区代表幹事より

- ・2011～2012 年度地区資金収支報告書

○国際ロータリー第 2630 地区濃飛グループガバナー補佐より

- ・IM参加のお礼

<高山市都市提携委員会より>

- ・高山市/越前市友好都市提携 30 周年記念式典開催のご案内

日時：11 月 1 日 (木) 11:00～

会場：高山市役所地下市民ホール

<ぎふ清流国体高山市実行委員会より>

- ・第 67 回国民体育大会 ぎふ清流大会開催に係る慰労会のご案内

日時：11 月 5 日 (月) 18:30～

会場：ひだホテルプラザ

- ・ぎふ清流大会開催に係るお礼

<高山市ハンドボール協会より>

- ・HC 高山を支援する会解散式のご案内

日時：11 月 2 日 (金)

会場：フローラ

<高山市青少年育成市民会議より>

- ・「子供・若者育成支援強調月間」における街頭啓発の実施について

<会報>

- ・可茂 RC

*先日、ビジターとしてお越しになった、小矢部ロータリークラブの東田さんの所属クラブから、クラブバナーと会報が届きました。



<地区大会報告>

大原 誠 会員

国際ロータリー第2630地区2012-2013年度地区大会に、1,600名のロータリアンが集い、開催され、参加しました。

本会議は、村橋元ガバナー挨拶、辰野克彦R I会長代理講演の後、各表彰があり、当高山中央ロータリークラブがR I表彰の会長賞に、そして直前ガバナー補佐の感謝状贈呈には、我がクラブの剣田廣喜さんが授与されました。

その中で、授与者12名を代表して、剣田さんに感謝状が石井直前ガバナーより贈呈されましたことは、高山中央ロータリークラブの参加者として、大変喜ばしく、当クラブの存在感が高まったと感じました。

本会議終了し、休憩の後、「ロータリーにおける不易流行とは」をテーマにパネルディスカッションが開催されました。



コーディネーター、パネリスト3名、そして途中数名の方の発言もあって、時間をオーバーしての非常に熱いディスカッションとなりました。

その内容は簡単には説明できないのですが、改めて2012-2013年度の地区の活動方針「不易流行」について、考える機会となりました。

不易流行を辞書で引くと、“いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中にも、新しく変化を重ねているものを取り入れていくこと。”

“新味を求めて変化を重ねていく流行性こそが不易の本質であること。”とあります。

ロータリーの活動方針での「不易」とは、創始者のポール・P・ハリスの精神、ロータリーの綱領、超我の奉仕であり、「流行」とは、クラブのサポートと強化を始めた「戦略計画」であることです。

では、その「戦略計画」を立案し、実践していく上で、何が重要なのかというと、CLP（クラブ・リーダーシップ・プラン）が重要であることを理解しました。

CLPは、各クラブが独自の特性を持って行う意義があり、CLP最大の目的で「クラブを長期的に如何に発展させ、活性化を図っていくか。」ということをロータリアンとして常に意識して活動していかなければならない事、それには先ず、クラブが行うパフォーマンスに積極的に携わる事を、今回初めて地区大会に参加させて頂いた中で、強く感じた次第です。

あと、当地区、第2630地区は2千6百30ちくであり、2・6・3・0（マル）地区ではない事を理解しました。

大保木 正博 会員

国際ロータリー会長代理 辰野克彦様のお話

第1 CLPの行動手順

1. 戦略目標を立案
2. 長期目標を実現させる年次目標を設定
3. クラブ会員全員が最新情報を得ている事(参加している事を実感)

第2 CLPはクラブのアイデンティティを築くための

ものである

R Iの戦略計画

1. R Iからの指示を減らす
2. 各クラブの自主性を尊重(各クラブの文化に合った計画を立てる)
3. 根気よく変化を導く

○基本に戻ろう(クラブ中心)

○他の組織・クラブと一緒にいろいろな事業を行っていく

村橋ガバナーの地区テーマ(不易と流行)

《不易》 変えてはいけないもの超我の奉仕や4つのテストを大切にする

《流行》 ロータリーの変えてはいけない本質を忘れないで進化変化に勇気を持って取り組んでいくことが大切

在籍50年表彰(52年皆出席)

大垣の小野PG 出席が大事



永家 将嗣 会員

大会初日の27日のR I会長代理として東京西RCの辰野克彦R I会長代理がお話しになられました。内容としてはR Iの現状について、CLPの推奨及び、R I、地区、クラブのそれぞれの戦略計画についてお話しされました。その中で、クラブ独自の奉仕活動を期待しているという所が印象に残りました。

午後からのAGによるパネルディスカッションは、テーマ「ロータリーにおける不易流行とは」でしたがネガティブな議論が多く、時間も大幅に超過して内容は今一つでした。



大会2日目の28日の基調講演では演題「はやぶさ」が挑んだ人類初の往復宇宙旅行、その7年の歩みと題され、講師に宇宙航空研究開発機構 宇宙科学研究所 「はやぶさ」プロジェクトマネージャー 川口淳一郎氏の講演がありました。内容としては挑戦時の苦労とその発想の源についてのお話でした。いまの考え方は人間がロケットに縛り付けられて打ち上げられている。しかしあと30年もすれば誰でも宇宙旅行できる時代が来る。それに乗り遅れないようにしなければいけないが政府は「はやぶさ」がイトカ

ワから資料を持ち帰った人類初の快挙によりこれで一区切りと考え予算を半分に削減した。しかしNASAではプライドを捨てて「はやぶさ」に追従すべく4倍の予算が組まれた。この官僚発想を変えなければ日本は宇宙開発から遅れてしまう。

小惑星から試料を持ち帰ることで、地震や気候、生命の起源を知ることができる。

前人未到の発想力の原点は、今見えるものはすべて過去のものである。

これまでに学んだものは練習にすぎない。

やれる可能性を見つけて挑戦する。

迷ったらまず現地足に足を運ぶ。(データーをディスプレイ見て判断するのは信用しない)

どんなところでも最善の努力があつてこそそのちに功を奏することになる。

高い塔を建ててみなければ新たな水平線は見えてこない。最後に

「日本はこれまで製造の国だったが、これからは創造の国に代わっていかなくてはならない」と締めくくられ、とても素晴らしい内容でした。

中田 学 会員

第1日目点鐘から2日目昼食まで参加しました。

これまで数回、大会へ行き、大きな会場、大がかりな演劇を遠くで見ると感じる感じだったが、小さくてこじんまりし、逆にいい意味で一体感があつて良かった。

大原さん、大保木さん、私は、未来委員会担当の為、大きな一つの役割、CLPの導入について考えるという事がある。

R I会長代理 辰野さんがCLPに少し触れられて、サンプル提示はするが、世界は広く、深い、多様性は大いに認め、画一的なクラブは認めない、最後はクラブの意志であり、様々な事を決めて行くのは私達自身、私達にとって良いクラブを私達が造ると、素晴らしい事、大切な事と感じました。

「ロータリーにおける不易流行」

ポール・ハリスは、ロータリーは時代の変遷とともに進化、変化して行くと言った。変えるもの、変えないもの⇒何?という論議がありましたが、私達が私達にとって良いようにクラブ作りをしていく。その為に変えたり残したりして、大切なものを選んでいくと感じました。



高原 清人 会員

私は、前泊組が千代保稲荷へ視察に行かれた後の、誰も知らない2日目午後の部からの報告をしたいと思います。午後1時より、R I会長代理 辰野克彦様の講演から始まり、

村橋ガバナー挨拶、ロータリー財団表彰、米山記念奨学会表彰があり、米山奨学生、国際青少年交換学生スピーチがあり、インターアクト、ロータリーアクト代表スピーチと続き、更に難解なお話で定評のある、桑月パストガバナーの講評という所までを真剣に拝聴してきました。

特に印象に残ったのは、R I規模で会員が減少している現状、それに伴い会員増強が急務であることを辰野様は力説しておられましたし、村橋ガバナーも挨拶の内容は「会員増強」ただ一点でした。

田中R I会長は、自分の会長の時に、まず日本が会員増強を行うべきと考えられ、方策を練られました。

その一つは、今までのクラブの在り方ではなく新しい形のクラブを創設しようという事です。(最近愛知県に作られたと聞いているが)どのようなクラブなのか、詳しくは山本エレクトが説明されると思います。

そして2つ目に、「サクセス ジャパン作戦」、またの名称をR I会長の名前にちなみ、「サクジ作戦」という戦略を考えておられます。この作戦の内容は、やはり山本エレクトが説明されると思います。

今大会に参加して感じたのは、「会員増強問題」といっても過言ではないくらい、会員増強はRC急務の課題なのだと思います。

劔田さんが地区で一生涯懸命「会員増強」に取り組まれた意味がわかった気がしました。



2011~2012年度 R I 表彰「会長賞」受賞



受賞を祝しワインで乾杯しました

RI「会長賞」受賞



村橋ガバナーと共に



劔田会員 感謝状授与



地区大会2日目参加者



<ニコニコBOX>

高山RC 西野徹様のご来訪を歓迎致します。地区大会の参加頂いた皆様ご苦勞様でした。多忙な10月も大半終了しました。予定通り参加できた事に感謝してニコニコへ。
足立 常孝

地区大会にて「会長賞」を頂きました。昨年度、皆様のお蔭で撰れた賞です。ありがとうございます。11月12日はお祝いの宴を企画して頂きました。皆さんで盛り上がりましょう。
平林 英一・新宮 一郎

12/27~10/28 大垣での地区大会に出席された皆様方、本当にありがとうございます。2日間多めに勉強し多に楽しませて頂きました。
田中 雅昭

高山RC 西野徹様ようこそいらっしゃいました。また、昨日は地区大会へ参加の皆様ご苦勞様でした。田中幹事に御馳走になった焼き鳥に愛を込めて!!
今井 俊治

27日地区大会参加の皆様には、大垣市の南東部を20分余り、田中幹事様とドライブをする間お待ち頂きありがとうございました。
大原 誠

前回に「はぐるま会」で参加賞を頂きましたのでニコニコへ。
永田 富次

長男が、まだ国家試験には合格しませんが、マッチング試験(第2志望)合格したため、藤沢市民病院に就職が決まりました。藤沢と言えば、平塚湘南の近くで、これからは平塚湘南ロータリークラブとの交流を2年に1回と言わず毎年やりましょう。と、勝手な希望でニコニコへ。
高木 純

昨夜 深夜1時半、家内が帰宅しスマホを落としてきたと大騒ぎ!深夜2時、神田町で道に落ちているのを発見!無事回収できたのでニコニコへ。
津田 久嗣

週末は京都へ学会に行つて来ました。改めて京都の素晴らしさを再認識しました。『そうだ!京都に行こう』
周 信夫

高山RC 西野徹様のご来訪を歓迎致します。公私とも、とてもハードな10月が終わりました。ロータリーの行事に参加できず申し訳ないです。
坂之上 健一

地区大会に出席させて頂き大変良い経験をさせて頂きました。2日目の川口教授の話はとても楽しく、もっと沢山話を聞きたかったです。本当にロータリーは良い所だと思います。
前越 路子